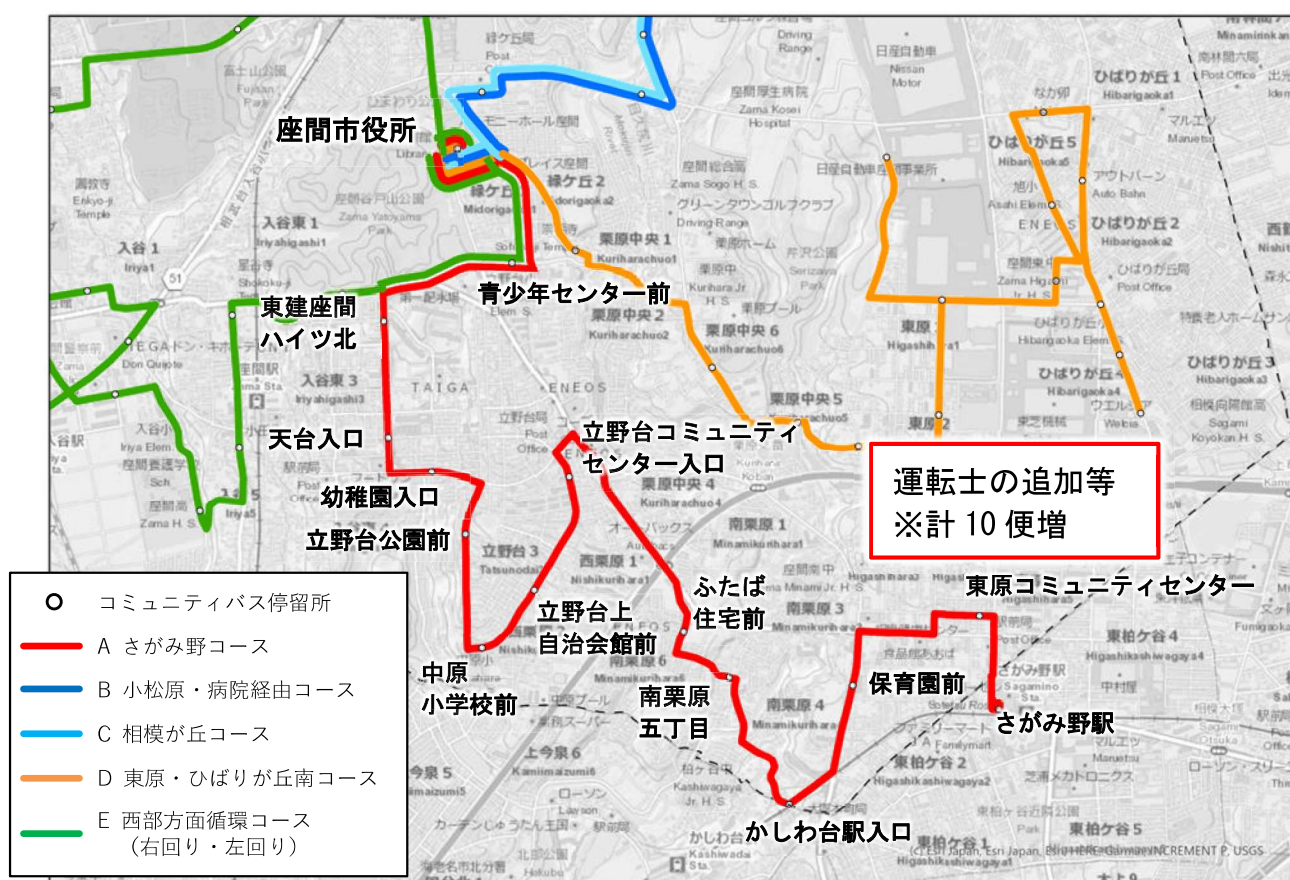


(1) A さがみ野コースの乗り残し対応

■「南栗原五丁目」や「ふたば住宅前」の道路幅員の狭い箇所における停留所で乗り残しが発生しており、対策が必要です。

■全体的なダイヤの見直し、また、運転士の追加により、基本 45 分間隔での運行とします。合計 10 便の増となり、輸送力の向上を図ります。



(2) D、Eコースのルート見直し

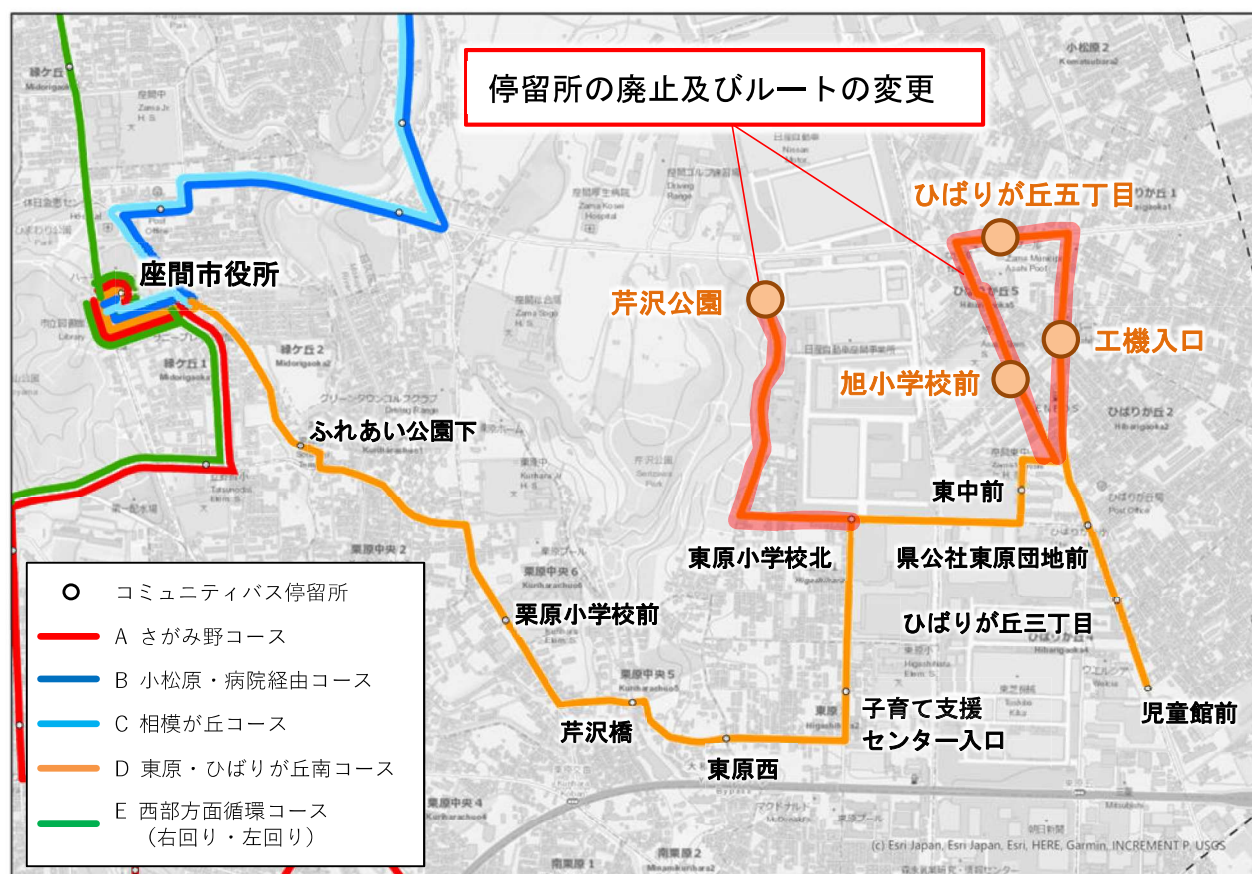
④ D東原・ひばりが丘南コース

【課題】

- 「芹沢公園」「旭小学校前」「ひばりが丘五丁目」「工機入口」停留所の利用は少なく、利用状況等を踏まえたルート見直しによる全体的な運行の効率化が必要です。

【対応】

- 「芹沢公園」「旭小学校前」「ひばりが丘五丁目」「工機入口」停留所を廃止し、ルート変更を実施します。(新ルートはH24年3月1日～H29年1月31日に設定していたルートです。)
- なお、「ひばりが丘五丁目」「工機入口」停留所については、民間路線バスの停留所と重複していたため、民間路線バスの利用促進を図ります。



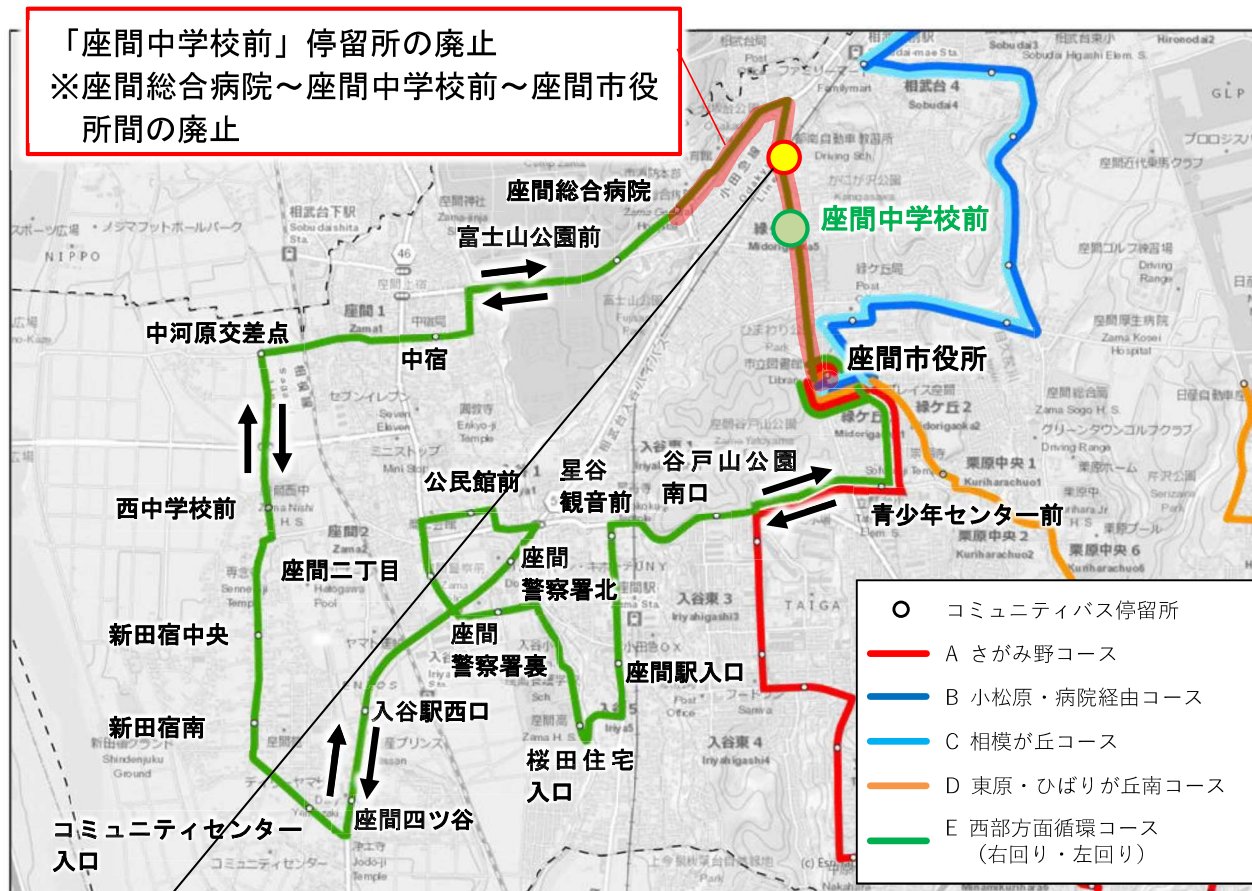
② E 西部方面循環コース

【課題】

- 「座間総合病院」～「座間中学校」間の小田急線踏切付近や幹線道路の渋滞による遅延の状況を踏まえ、ルート見直しによる全体的な運行の効率化が必要です。

【対応】

- 「座間中学校前」停留所を廃止し、循環系統から「座間市役所」⇔「座間総合病院」間の往復系統に変更します。



小田急線の踏切付近の状況



小田急線の踏切の影響により、
道路の渋滞が発生。

(3) 台 04 系統のあり方の検討への対応（実証運行の検討）

【対応】

- 台 04 系統のあり方の検討において、朝の通勤・通学時間帯に 1 便、当該路線の一部区間「座間四ツ谷」→「座間駅」の実証運行（1 乗車 200 円）の実施を検討しています。
- コミュニティバス「C 相模が丘コース」の始発便運行前に、当該コースの小型バスを使用して運行します。



出典：神奈川中央交通株式会社ホームページ（一部加筆）

(4) 交通系 IC 決済の導入

【対応】

- コミュニティバスの決済手段の拡充を図るため、令和 9 年度に簡易型 IC 決済端末を導入し、交通系 IC カードでの運賃支払いを可能とします。
- 従来の回数券の販売は廃止とします。

2. 運賃改定（案）

【課題】

- また、利用者数は増加しているものの、運行経費は高騰しているため、収支率は横ばいが続いており、運行継続に向けた収支の改善が必要です。
- 現行のコミュニティバスの運賃は、1 乗車 150 円として設定していますが、民間路線バスの初乗り運賃との差（市内民間路線バスの初乗り運賃：神奈川中央交通 230 円、相鉄バス 220 円）への対応が必要です。

【対応】

- 現在の収支状況、および運賃 200 円への改定後の収支シミュレーション（簡易算出）は下表の通りです。利用者数は令和 7 年度と同等、運行経費は 3% 増（令和 6 年度⇒令和 7 年度の増加率）と仮定した場合、運賃改定により収支率が 7 ポイント程度改善することが予想されます。
- 神奈川県内における運賃改定事例（物価・燃料高等に伴う改定）を踏まえて、運賃協議会において 200 円を基本として協議を予定しています。

※神奈川県内の運賃改定事例（直近 5 年間での改定事例）

- ・ 海老名市（コミュにティバス）：運賃 150 円→200 円（2023 年 10 月）
- ・ 大和市（コミュニティバス）：のろっと 運賃 100 円→200 円（2026 年 10 月）
やまとん GO、のりあい 運賃 150 円→250 円（2026 年 10 月）

※上記の運行見直し及び運賃改定は令和 9 年 4 月を予定しています。